

1 平成 22 年度 普通会計決算状況(総括)

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成22年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	61	139

2 決算規模

平成22年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成22年度(A)	平成21年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,068,092	1,069,353	99.9
歳 出	1,025,875	1,033,826	99.2
差 引	422,147	35,526	118.8

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成22年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、422億1千8百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源96億9千万円を差引いた実質収支は、325億2千7百万円の黒字で、前年度と比べて46億7千1百万円増加した。

イ 実質収支をみると、139の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ36億3千99万円増加し、46億7千万円の黒字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて79億2千7百万円増加し、194億1千8百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は133億1千万円で前年度と比べて34億6千万円増加し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は42億百万円で前年度と比べて28億8千5百万円減少した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は27億6千7百万円で前年度と比べて37億1千9百万円減少した。